



6年
山崎美由紀

落ち葉のまい

すうつと冷たい風。
空から落ち葉が、まいおりる。
音もなく地面に並ぶ。
カエデは赤に着かざって、
黄色にしゃれたイチョウの葉。
茶色の葉っぱも並んで
風にせかさされて、まい走る。
どんぐりがたくさん



5年
深田友紀

紅葉の季節

「わあっ。」
山の紅葉があざやかだ。

すましてながめてる。
こんな様子を見てみると
ひとりでに歌が、とび出して、
はなうたになる。
水仙のみどりが
うれしくのびる。

紅葉の葉は、火が燃えているよりも、
まっ赤に、あざやかだ。
山が紅や黄色でうずまり
ドレスに見える
緑色の洋服に、紅や黄色の水玉模様。
とてもすてきだ。
切り通しの返道、
黄色や紅の葉がひらひら落ちて、
紅葉のじゅうたんだ。
この上でねたら、
すてきな夢が、
見られるだろうな。

シリーズ 23

我が家の家庭教育

原方 加瀬 覚

我が家の夕食時はとても賑やかである。
学校での友人の話、授業中のこぼれ話、
自分の失敗した事など、二人の子ども達
はそれぞれに話しまくる。それが当り前
であった。

長女が誕生した時に、「親の都合で子
どもを犠牲にするな。」と言った事がある。
その事はなるべく忘れないようにしてき
たつもりであるが、多忙になったり、疲
勞してきたりすると、つい「親の都合」
を、前面に出したくなる時が出てくる。
今までにも何度かは押し通した事も

あった。しかし、後で考えてみると、子
ども達も自分なりにがまんしたり、精一
ぱい頑張っている事も数多くあったはず
である。親だからと言って勝手な行動を
したり、指図したりすれば、子どももそ
の姿を見て、きつと同じじふるまきをする
ように育っていく事と思ひ、後悔する事
も多かった。

今は、子ども達もそれぞれに成長し、
長女は親元を離れての寮生活、長男も毎
朝四十分かけての自転車通学、と、自分
の考えで行動しはじめている。これから
は、大人への足がかりをして、進むべき
方向を考えていかなければならない。

困難に負けないように、少しでも生き
がいのある仕事を持てるように、育てな
ければならない。それには、いつまでも
話し合える絆を持った親子関係でいなけ
ればと思っている。

子供の友達つきあいは

人形形成の基礎

子供のころの友達つきあいは、その後
の人間形成の基礎となる重要な事柄です。
子供たちが健全な友達つきあいができ
るよう保護者も関心をもち、小さな時か
ら次のようなことに気を付けてみましょう。

◎自主性を尊重する

親が子供に過剰な期待をかけすぎると、
子供は委縮してしまいます。また、子供
の遊び方などに細かく口出しするのはよ
くありません。せっかく芽生えてきた積
極性を摘み取ってしまうことになりかね
ないからです。子供の自主性を尊重しま
しょう。

◎遊び道具の与えすぎは考えもの

おもちゃ、ゲーム、テレビなど子供の
遊びの対象となる物がたくさんあります。
しかし、遊び道具の与えすぎやテレビの
見すぎは、体を使わない、独り遊びを好
む子供にしてしまわないとも限りません。
創造性や探求心を育てるためには、遊
びの中に工夫する余地のあることが大切
です。

◎けんかも成長の一過程

子供の世界にけんかはつきもの。見方
によっては好ましい成長の一過程です。
けんかの仕方が危険な場合は別にして、
大人がすぐに手や口を出すのは考えもの。
子供はけんかを通してお互いの考えを知
り、相手を認めて譲ることも身につけて
いくのです。自分の主張を言い張るか、
引っ込めるかの「呼吸」を覚え、友達と
のつきあいも上手になっていくのです。

"あとで"より"いま"が大切 火の始末



春の全国火災予防運動 2月28日～3月13日